

ニュースレター 第14号

平成7年10月5日

日本精神保健看護学会

- The Japan Academy of Psychiatric and Mental Health Nursing -

事務局：

〒150 渋谷区広尾4-1-3

日本赤十字看護大学内

(理事長：稲岡文昭)

TEL：03-3409-0875

FAX：03-3409-0589

第5回 日本精神保健看護学会

— 精神看護の専門性を問う —

1995（H7）年7月1日（土）～2日（日）の2日間、今までの慣れ親しんだ日赤看護大学の会場から離れて、北里大学看護学部において総会・学術集会が開催された。初めての会場で交通が不便だったこともあった中で、学会員164名、非会員90名という多くの参加者を迎えることができた。

講演は初めて会員からで、柴田恭亮氏が精神科看護に携わってきた長い軌跡を通して専門性の危機と活路について語り感動をよんだ。

ワークショップは5つのグループで熱心な学習や討論が繰り広げられ、並行して研究相談も実施された。懇親会も65名の参加者で交流や意見交換が盛んだった。

一般演題は4群21題の発表があり、年毎に内容が高まってきているのが感じられた。

総会は報告議事共に拍手多数で承認された。シンポジウム「精神科看護の危機」—精神保健・福祉サービスの統合をめざして— では、OT・CP・PSW・Nsの各立場からの発言があり、最大集団の看護職には意外に危機意識が乏しいのかと考えさせられた。

全てが無事に終了した今、会場を引き受けて準備万端を整えられた北里大学の皆様のご努力に心からの感謝を捧げると共に、来年もよろしくと申し上げたい。

（千葉大学 横田 碧）

精神保健活動のご紹介 — 第4回 —

阪神大震災の避難所での生活について

震災後の心のケアの必要性を感じてはいたものの具体的にどのようにとりくむのか、又一ボランティアとして、短期間に何が出来るのか、手がかりもなく一週間の滞在予定で、看護協会の調整本部の手配で須磨区にある小学校へ向った。3月2日～8日迄の期間の避難所での困った問題事を報告したい。

900名が避難しているその小学校では、大学の医療チームが常駐していた。看護ボランティアは常に3名程度に調整されていた。

既に震災から1カ月半が経過し、日中避難所に残るのは数十名程度であった。問題は、ほとんど夕方から起きた。飲酒の上での問題と精神に障害を持ち適応力の弱い人達であった。飲酒の上での喧嘩やトラブルは1週間に6回おき、3回は警察官が呼ばれた。飲酒の上、救援物資を勝手に持ちだそうとして、学生ボランティアに暴力をふるったり、部屋の整調に低抗して騒いだり、老母に酒代を要求し刃物をちらつかせたり、他の避難所から肝臓が悪いから注射をしてくれと入り込み、断わられて大騒ぎをするなどが起きた。他に廊下の片隅に、ひっそりとダンボールで囲まれるように寝ていた中年の男性は食事をほとんど摂らず衰弱し、一日何回か外に行ってはワンカップを呑んで帰ってくる。アルコールの連続飲酒の状態にあった。医療チームによって点滴が時々施行されていたが、点滴を受けた翌日は、足どりもしっかりと外へ酒を呑みに行く姿がみられた。巡廻の精神科医と相談の上アルコール依存症の治療を受けるよう説得し入院となった。説得に2日間を要した。又、一人暮らしをしていた80代の老婦人は、やはり周囲との接触をまったく持たず、配られた弁当にも手をつけず、話かけても拒否し、誇大的な妄想に支配されていることがわかった。わずかな水は呑んでいたと思われるが、ひっかかれながらも熱を計ると熱があり脱水状態であった。900名からの避難生活者のごく一部ではあるが、それらのことに振り廻されていた一週間であったように思う。

(長谷川病院 松原久子)

《 ご投稿お待ちしております！ 》

秋涼の候、皆様もお忙しい毎日を送っていらっしゃると思います。

さて、今年度も学会誌5号の投稿論文を受け付けております。是非、早急にまとめて頂き、

10月15日(日) 消印有効

で、お送り下さい。皆様からの多くの投稿をお待ち致しております。

原稿送付先は、下記になっております。書留にて郵送して下さい。

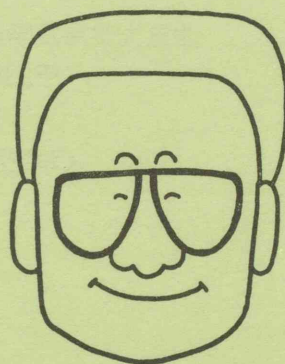
〒150 渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内

日本精神保健看護学会 編集委員会

※学会誌4号にミスプリントがありました。お手数ですが、学会誌4号19ページの図3-1、3-2の該当場所に貼って頂きたいと思っております。よろしくお願ひします。

経済が少し上を向いてきました。円高から円安に動いています。この3年来、学会の収支決算は、会費の未納の方が多いため、実質的に毎年40万円近い赤字を出しています。この状況が続きますと学会運営に支障をきたしてきます。

事務局からお知らせする納入状況を御覧ください。もし未納であれば、至急納付くださるようお願いいたします。



理事長 稲岡文昭

第1回 事例検討会のお知らせ

この度教育活動委員会では5月に実施したニーズ調査の結果をもとに、下記のように事例検討会を開催することに致しました。患者のアセスメントや具体的な看護援助技術、また事例研究として、看護事例を分析しまとめる方法などを皆様と一緒に学んでいきたいと思ひます。多数の参加をお待ちしております。

- 1) 日時 平成7年11月25日(土) 13:00～17:00
- 2) 場所 聖路加看護大学 東京都中央区明石町10-1 TEL 03-3543-6391
- 3) 内容 患者の病識や病感を高め、患者の闘病を支える援助について、2～3の事例を通して探る。
- 4) 申込方法 ①氏名、②所属、③住所、④年令を明記し、はがき又はFAXで申込む
申込先 東京都清瀬市梅園1-2-3 看護研修センター 岡谷恵子
FAX 0424-92-7213 * 11月10日(金) 必着
- 5) 参加費用 1000円(資料代として) 当日会場で集めます。

第6回 日本精神保健看護学会学術集会・総会のお知らせ

1. と き : 平成8年7月6日(土)・7日(日)
2. と ころ : 北里大学看護学部(神奈川県相模原市)

《 一般演題募集について 》

現在当学会では、第6回学術集会の一般演題を募集しております。会員の皆様の日ごろの研究・実践の成果を発表する場所として、どうぞふるってお申し込み下さい。

1. 発表ご希望の方は、次号(15号)ニューズレターに同封のハガキにて、演題名をお申し込み下さい。(平成8年2月末日まで)
2. 演題名を登録された方には、学術集会事務局より抄録用原稿用紙をお送り致します。抄録のしめきりは平成8年3月末日です。

《 学術集会のお申し込み・お問い合わせ 》

北里大学看護学部内 日本精神保健看護学会・学術集会事務局
〒228 神奈川県相模原市北里2-1-1
FAX : 0427(78)9428
(お電話でのお問い合わせはご遠慮下さい)

事務局だより

- 1) 平成7年度年会費の納入をお願いします。年会費の納入状況は封筒の宛名の下に記しておりますので、同封の振込書で至急お納めください。年会費は7,000円、平成5年度分から未納の方は21,000円、平成6年度分から未納の方は14,000円となります。なお、退会を希望なさる方は、お手数ですが事務局までご一報くださるようお願い申し上げます。
 - 2) 今年度中に新しい学会員名簿の発行を予定しております。住所や所属の変更は、平成7年12月末日までに文書で事務局へご連絡ください。
 - 3) 日本精神神経学学会阪神大震災対策特別委員会より「阪神・淡路大震災における支援活動資料集 -こころのケアをめざして-」を寄贈して頂きました。閲覧をご希望の方は前もって事務局までお申し込みください。
 - 4) 学会誌および抄録集のバックナンバーを販売しております。
①送本先の住所、②氏名、③ご希望の巻数、④部数を明記して事務局宛にお申し込みください。代金は後から請求させていただきます。定価は学会誌第1~4巻が各1,500円(郵送費は実費請求)、第2~5回学術集会抄録集が各600円(郵送費込み)となっております。第1回学術集会抄録集は在庫がございませんので、ご了承ください。
-